



菫神社と淀川の洪水

毎年六月四日。菫神社の例祭「菫神祭」が執り行われますが、残念ながらコロナ禍の為、昨年に続き本年も一般の方のご参列はご遠慮頂き、神事のみ執り行う事となりました。

その菫神社。今では菫の大神さまとして知られておりますが、元々の由来は、農耕神としてお祀りされていた御神体の巨石(現在は地中に埋まっています)が、淀川の洪水の流れを歯止めした事から、歯止めの神社と呼ばれた事に由来します。

この歯止めの由来になった洪水は、江戸時代の中頃とだけ伝えられており、ハッキリとした年代はわかりませんが、江戸時代に梅田あたりまで被害があったであろう洪水の記録を抜粋しますと、

- ・延宝二年(一六七四) 別名 仁和寺切れ
- ・享和二年(一八〇二) 別名 点野切れ
- ・文化四年(一八〇七)

の洪水が大きなものでした。特に延宝二年の洪水は被害が大きく、中之島にかかる橋の多くが流され、新大阪あたりの村では河川改修工事に消極的な公儀を見限って庄屋さん独自で河川工事に乗り出し、その責を負って自刃したという話も伝わっており、当時の民衆が洪水に対し、どれほどの思いであったかわかります。

今年五月十六日に観測史上最速の梅雨入りとなり、例年よりも大雨への警戒が必要で、コロナ禍の最中という事もあり、どうぞ災害への警戒を今一度思い新たに、ご用心下さいませ。

祭礼催事中止について

報道等でもご承知の通り、大阪府では新型コロナウイルスによる、緊急事態宣言の再延長が五月二十八日に発出されました。つきましては大変残念ではありますが昨年同様に左記祭礼につきましては、神職による神事のみとし、一般のご参列はご遠慮頂く形で斎行する事となりました。

- ・六月 四日 菫神社例祭
- ・六月三十日 夏越大祓(御旅社)
- ・七月六日〜七日 七夕祭(御旅社)
- ・七月十五日 例祭(御本社)
- ・七月廿四日 遣梅式(御旅社)

何卒ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

御旅社灯籠 奉納二百年と薩摩芋

茶屋町の当宮御旅社の本殿前には二基の石灯籠があります。石質は御影石で、高さは約一七五センチ、側面には文政四年(一八二二)六月に建立されたという文字が見え、この六月で奉納からちょうど二百年となります。

灯籠には奉納者として相上村屋由兵衛、塩屋卯兵衛、芋屋勘右衛門、芋屋市良兵衛の名も見えます。芋屋については、当時の主流は里芋でしたが、この文政年間に、畿内でも尼崎を中心に急速にサツマイモが普及した時期でもあり、石灯籠を奉納出来るほどの商いが出来た事を考えると、新興のサツマイモの芋屋であった可能性が高いかもしれません。

また、相上村屋については、詳細は不明ですが、相上村という地名は現在の埼玉県熊谷市南部にあった村名で、近世サツマイモの栽培はその南の埼玉の川越市から始まった事を考えると、何らかの関連が推測されます。そして塩屋。当時、サツマイモの調理法として塩を使ったものも多く、こちらも関係が無いとは言えなさそうです。二百年の時を経て、改めて石灯籠について調べてみると、梅田にサツマイモが渡来した当時の様子を垣間見たようで、思いもかけない発見となりました。

今月の暦

【祭礼】

菫神祭(四日)：飛地末社の菫神社の例祭 本年神事のみ
御誕辰祭(廿五日)：菅原道真公誕生日 神事のみ
夏越大祓(廿日)：神事のみ。本年は芽の輪も無し

【節気】

芒種(五日)：イネ科の種まきの頃
夏至(廿一日)：日中の時間が最も長くなる頃

【雑節】

入梅(十一日)：梅雨入りの頃。また梅の実の収穫期
歯と口の健康週間(四日)：歯を大切にしましょう

【大安】

六月六日、十日、十六日、廿二日、廿八日

【忌日】

大阪大空襲の日(一日)：二回目の空襲 梅田罹災の空襲
沖繩慰霊の日(廿三日)：先の沖繩戦終結の日

【旬】

【野菜】 枝豆、トウモロコシ、タマネギ、キクラゲなど
【果物】 ウメ、アンズ、スモモ、サクランボ、ビワなど
【魚介類】 アジ、キス、トビウオ、ホタテ、岩モズクなど
【その他】 菖蒲、紫陽花、立葵などの季節の花が見頃

Twitter



Facebook



当宮地図
Google MAP



網敷天神社 SNS、地図サイト

編著 網敷天神社

編集 網敷天神社 白江 秀知

